

令和3年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	「おりがみ DE 秋の草花を作ろう」「おりがみ DE 気持ちを届けよう」 「切り抜くだけ DE うちわ」
2	実施社会福祉協議会	滑川町社会福祉協議会
3	協力団体	療護園滑川・ベストライフ東松山・森もり食堂
4	活動年月日	8 月中
5	活動場所	ご自宅
6	内容	簡単な作業（家ボラ）
7	活動の様子	

コロナ禍なので、感染予防対策は最優先！かつ、みんなが安全に過ごすには、どうしても従来のような交流が難しくなってしまう・・・
いやいや、そんな状況下でも、人と人とがふれあう方法はきっとあるはず。
そんな思いから、今年度の夏のボランティアプログラム 2021 は
こんな今だから！思いを届けるボランティアをしよう！
・・・をスローガンに、地域の施設や事業所さんのご協力を得て
お互いが、今、安全にできる事で気持ちを届け合うことができる
ような作業ボランティアのプログラムで実施しました。



ボランティアさんに作業していただいたものが、施設の壁画制作に！



参加者の声

楽しかった。また折り紙をおったり、
画用紙にあるのを切ったりする事を
参加したいです。
コスモスやススキが上手にできてよ
かったです。喜んでもらえたら
嬉しいです。（小学生）



子ども食堂でオリジナルうちわに大変身！



切るだけで僕にもすごく簡単
で楽しくできました。
又来年も参加したいです。
（中学生）



みんなが喜んでもらえる
ように作りました
（中学生）



折り紙を花型に折って切ってメッセージを書いてお届け！



昨年のコロナウイルスによる自粛ムードに
よりこういったボランティアができる事を
大変嬉しく思います。また機会があれば
参加させてほしいです。
（30代）



今年度の夏ボラは、小学生から 70 代以上の方まで、
様々な世代の方が参加してくださいました。中には
介護認定を受けている方や障害者の方も「作業なら
できる」と参加していただいたり、小学生、中学生の
孫と一緒に取り組めた、親子で活動できた、受験勉強
の息抜きになったなどなど、作業ボラの長所もたく
さん気づかされたプログラムとなりました！